

「いよいよ別れのとき、心残りのないようにしっかりとまとめをして別れたい。」この思いは、教師も、子どもも同じ。授業での学び方や学級での自主的な活動など、この1年間の学級の成長を子どもと共にまとめたり、次年度以降の学級や自分の姿を考え合ったりしてもよいでしょう。このような活動を通して、その子なりに1年間の締めくくりができるよう支援したいものです。



<小学校>

**ゴールはスタート
心に残る「まとめ」の場面を！**

「〇年〇組 学級じまい」をしませんか？

ビデオで振り返る思い出
運動会のダンス、みんな
でがんばったね！

友達から感謝の手紙
A君の具合が悪かったと
き、保健室につれて行っ
たことを覚えてくれていた
んだ！

音楽会の歌をもう一度
合唱を通して、クラスが
一つになれたね！

担任の先生からの一言
私が毎日掃除をがんばっ
たことをほめてくれてうれ
しいなあ！



3月は1年間の活動の集大成。4月から気分新たにスタートできるような「まとめ」が大切です。進級・進学の意味を考え、「これができたんだ！」という実感がもてるゴールになるようにしましょう。

友達ともっと仲良くなったり、
新しいことに挑戦したりして、
楽しいクラスにしたいな。



**めあてをもって、
規則正しく過ごす春休みに**

【そのために、たとえば】

◇春休みの「はひふへほ」を考えさせる。



- は 早寝早起き。 ひ 火遊びしない。
- ふ 不審者注意。 へ 勉強します。
- ほ 本気でします。お手伝い。

・「はひふへほ」に対応する過ごし方を、クラスみんなで考え合う場面を設ける。

◇「春休みに頑張りたいこと」を一つ決めさせる。

- ・新しい年度を迎え、一つ上の学年にふさわしい自分になれるようにする休みにしたいと話す。
- ・そのために、最も頑張りたいことを一つ決めて、短冊に書くようにする。
- ・その子が決めた内容は、新年度の学級担任に引き継ぎ、休み明けに努力を認める。

<中学校>

「思い」を伝える一人一言メッセージ！

3月は、卒業、進級、クラス替えなど、それぞれの学級がしめくくりの時を迎えます。生徒一人一人がクラスの仲間に向けて、今の思いを伝える場を位置付けてみてはどうでしょうか。

◇最後の学活の時間に・・・

「クラスみんなに伝えたいこと」をテーマに、全員が一言ずつ発表。

◇最後の学級通信に・・・

事前に書いてもらったメッセージ（名前入り）を掲載。静かに読み合う時間をとる。

↑

このような取組をするために、担任は、一人一人の生徒がどのような思いをもっているかを生活ノート等でとらえ、適切な内容となるように助言しておく。

☆最後は、学級担任も、学級の成長を嬉しく思う喜びや、生徒への感謝の気持ちなど、自分の思いを一言添えて締めくくりましょう。

次年度につながる春休み

目的をもった過ごし方ができるようにしたい。

1. 2年生

- 勉強：進級テストに向けて、計画的に取り組もう。
- 生活：目的をもって、規則正しく過ごそう。
- 部活：後輩を迎えるにあたり、先輩と呼ばれるのにふさわしい自分になろう。

3年生

- 進学、就職：決まった進路を大事にしよう。（スマホ・携帯は、適切に使う。）

【そのために、たとえば】

◇短時間でも一人一人と話す時間を確保する。そこでは、まずこの1年間で一番感心したことを伝え、その後、ワンポイントアドバイスをする。

◇学級全体に、スマホ・携帯のトラブルが多い事実を話した上で、適切に使用することを指導する。

*トラブル例は、県教育委員会のホームページ「ユキビタス@nagano」に紹介されています。